

# 届出

[平成19年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

浜松学院大学 現代コミュニケーション学部  
子どもコミュニケーション学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 興誠学園  
平成22年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 浜松学院大学 教務課

職名・氏名 キョウムカ チョウ ナ ワ テツオ  
教務課長・名和哲夫

電話番号 053-450-7000

（夜間） 053-450-7000

F A X 053-450-7110

e-mail nawa@hgu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

学 校 法 人 興 誠 学 園

### (2) 大学名

浜 松 学 院 大 学

### (3) 大学の位置

〒432—8012

静岡県浜松市中区布橋三丁目2番3号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代コミュニケーション 学部 子どもコミュニケーション学科 学士(現代コミュニケーション)	4 年	50 人	— 年次 人	200 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

## 2 授業科目の概要

<子どもコミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基本 教育 科目	コミュニケーション・スキル	情報論概説	1前		2			1			
		コンピュータリテラシⅠ	1前	1				1			
		コンピュータリテラシⅡ	1後	1				1			
		コンピュータリテラシⅢ	2前 1前	1	1			1			
		コンピュータリテラシⅣ	1後		1			1			
		日本語表現法	1前		2						
		日本語表現法Ⅰ	1前	2							
		スピーチコミュニケーション	1前	1							
		日本語表現法Ⅱ	1後	2							
		英語	1前	2				1			
英語Ⅰ	1前	1				1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
基本 教育 科目	英語Ⅱ コミュニケーション・スキル	1後	1			+	+			
	コミュニケーション・イングリッシュ	1後	2				+			
	コミュニケーション・イングリッシュⅠ	1前	1							
	口語英語Ⅰ コミュニケーション・イングリッシュⅡ	1前 1後		1						
	口語英語Ⅱ 英語特殊演習	1後 1-2-3-4年		1		+	+			
	英語特殊演習上級	1-2-3-4年		2						
	フランス語	1-2-3-4年		2						
	中国語	1-2-3-4年		2						
	中国語Ⅰ	1前		1						
	中国語Ⅱ	1後		1						
	ポルトガル語	1-2-3-4年		2						
	ポルトガル語Ⅰ	1前		1						
	ポルトガル語Ⅱ	1後		1						
	スペイン語Ⅰ	1前		1		1	+			
	スペイン語Ⅱ	1後		1		1	+			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
基本 教育 科目	生涯スポーツ演習	1通	2			+				
	生涯スポーツ実技	1・2・3・4通		1		+				
	スポーツボランティア入門	2通		2						
	野外スポーツ実習	1・2・3・4後 未開講		1		1				
	レジャーレクリエーション概論	2後 未開講		2		+				
	レジャーレクリエーション実習	2通 未開講		2		+				
	基礎演習	1通	4			1	1 +	1	1	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基本 教育 科目	現代 社会 の 課題	文学と人間	1-2-3-4後	-2							
	大 間 の 理 解	ジェンダーを考える 芸術の楽しみ アメリカ社会と大衆文化 自己理解と他者理解	1-2-3-4後 1-2-3-4後 1-2-3-4後 1-2-3-4後	-2 -2 -2 -2		1					
基本 教育 科目	社会 の 認 識	憲法	1-2-3-4後	-2							
		法学入門	1-2-3-4後	-2							
		現代と政治	1-2-3-4後	-2							
		未開講									
		経済学入門	1-2-3-4後	-2							
		現代と経済	1-2-3-4後	-2							
		地域と企業	1-2-3-4後	-2							
		科学発達と環境問題	1-2-3-4後	-2							
		未開講									
		地域社会とボランティア	1-2-3-4後	-2							
現代 社会 の 課題	グ ロ ー パ ル 化 と 多 文 化 社会	現代社会における教育	1後	-2				1			
		国際化とグローバル社会	1-2-3-4後	-2							
		情報と人間	1-2-3-4後	-2				1			
		地域と外国人教育	1-2-3-4後	-2				1			
基 礎 教 養 科 目		多文化共生研究	1後	-2							
		文学	1前	2							
		歴史学	1前	2							
		倫理学	1前	2			1				
		ジェンダー論	1後	2							
		法学入門	1前	2							
		憲法	1後	2							
		情報学概論	1後	2							
		科学と環境	1後	2							
		特別共同授業	1後	2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基本教育科目	現代社会と地域の理解	社会学概論	1後	2							
		現代社会と心理学	1前	2							
		現代社会と経済	1後	2							
		現代社会と多文化社会	1後	2							
		現代社会における教育	1後	2			+				
		地域と外国人教育	1後	2							
		地域と政治・行政	1前	2							
		地域と福祉	1前	2							
		浜松地域の企業と産業	1前	2							
		国際化とグローバル社会	1前	2							
	主題演習	2通	4			2+	+2-	+	1		
専門教育科目	専門・導入科目	コミュニケーション入門	1前	2				+			
		心理学概論	1後	2				+			
		現代コミュニケーション入門	1前	4			+				
	専門・基礎科目	現代コミュニケーション理論	1前	2							
		子どもコミュニケーション	1後	2			+	1	+		
		発達心理学	1前	2			+	1	+		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	教育心理学	1後	2			+	1	+			
	子ども教育の基本	1前	2			1	+	+			
	専門・基礎科目	子ども福祉論	1後	2			1				
		子どもと社会	2前 1前	2					1 +	+	
		子どもの文化	1後	2				1	+		
	地域共創論	1前		2							
	地域共創演習	1後		2							
	専門・基幹科目	対人コミュニケーション論	2前		2				+		
		対人コミュニケーション	2後		2		+		+		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門 教育科目	子どもコミュニケーション技法	2前		2				-	1	
	子どもの心理	2前		2		-	1	-		
	子ども保育の原理	2通		4				-	1	
	保育者論	1後		2		1 -		-		
	社会福祉論	2前		2		-		-		
	子ども養護の原理	2後		2		-			1	
	子どもと健康 I	2後		2		1				
	小児の保健	2通		4						
	子どもと表現 I (音楽指導法)	2前		1				-		
	児童文学	2前 2後		2						
専門 ・ 展開 科目	臨床心理学	2・3・4前 2-3-4後		2		1				
	子どもと家族の心理学	3・4前 2-3-4前		2				-		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育 科目	専門・ 展開 科目	青年心理学		2							
		3・4後 2・3・4後									
	未開講 4前										
	乳幼児の発達心理		2					1			
	2・3・4後										
	精神保健		2			1					
	2・3・4前										
	青年の発達心理		2				1		1	1	
2・3・4前											
保育臨床相談		2				1			1	1	
2・3・4前											
障害児の心理		2				1					
2・3・4後											
子どもと環境		2							1		
1前 2・3・4前											

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育科目	専門・ 展開科目	未開講 4前 <small>2-3-4前</small>		2					1		
		子どもの人権									
		未開講 4前 <small>2-3-4前</small>		2		1					
		子どもの安全									
		4後 <small>2-3-4後</small>		2						1	
		子どもの生活									
		4後 <small>2-3-4後</small>		2		1					
子どもと道徳											
4後 4前 <small>2-3-4後</small>		2		1							
子どもと健康Ⅱ											
4前 <small>2-3-4後</small>		2						1			
子どもと人間関係											
未開講 4前 <small>2-3-4前</small>		2						1			
子育て支援論											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	専門・展開科目	教育社会学	3・4後 2-3-4後		2		1	+	+		
		体育Ⅰ	3・4前 2-3-4前		2		1				
		体育Ⅱ	3・4後 2-3-4後		2		1				
		ライフプランニング	2・3・4後		2						
		社会福祉援助技術演習	3・4後 2-3-4後		2		1	+		+	
		老人の心理と介護	未開講 4前 2-3-4前		2						
		小児保健実習	3・4前 2-3-4前		1						
		小児の栄養	3・4前 2-3-4前		2						
		家族援助論	4前 2-3-4後		2					1	
		幼児の理解	3・4後 2-3-4後		2						1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	乳児の保育	2・3・4後		2					1		
	障害児の保育	3・4前 2・3・4前		2		1			1		
	養護内容	3・4前 2・3・4前		2		1			1		
	保育実習事前事後指導	2～3後～前		1		1	1	2	3	2	1
	保育実習 I (保育所)	2・3後		2		1	1	2	3	2	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	専門・展開科目	保育実習Ⅰ（施設）	2・3後		2		1	1	2	1	
		保育実習Ⅱ	4前 3・4後		2		1	1	2	1	
		保育実習Ⅲ	4前 3・4後		2		1	1	2	1	
		英米児童文学	2・3・4前 2・3・4後		2						
		絵本の読み語り	3・4前 2・3・4後		2						
		子どもと言葉	1前 2・3・4前		2				1		
		子どもと英語	3・4前 2・3・4前		2			1			

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育 科目	専門・ 展開 科目	未開講 3・4前 児童英語教育シミュレーション <small>2・3・4前</small>		2							
		3・4後 幼児英語教育シミュレーション <small>2・3・4後</small>		2							
	未開講 3・4前 外国の子どもと教育 <small>2・3・4前</small>		2			1	1				
	3・4後 外国の子ども教育実践 <small>2・3・4後</small>		2				1				
	2・3・4前 幼児音楽教育法		2				1	1			
	2・3・4後 幼児の音楽		2				1	1			
	3・4前 子どもと表現Ⅱ(音楽指導法) <small>2・3・4前</small>		1						1		
	3・4後 子どもと表現Ⅲ(美術指導法) <small>2・3・4後</small>		1						1		



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門 教育科目	子育て文化論	2・3・4前		2		+				
	器楽演習	1・2・3通		2			1	+		
	声乐演習	<b>3前</b> 1・2・3前		1		1				
	音楽 I	1・2・3前		1		1		+		
	音楽 II	1・2・3後		1		1		+		
	図画工作 I	<b>2・3前</b> 1・2・3前		1						
	図画工作 II	<b>2・3後</b> 1・2・3後		1						
	幼児造形	<b>3前</b> 1・2・3前		1						
	美術演習	<b>3後</b> 1・2・3後		1						
	レクリエーション特別実習	2・3・4後		2		+				
	地域と文学	<b>4後</b> 2・3・4後		2						
	子どもとコンピュータ	2・3・4後		2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	専門・展開科目	ホームページ作成演習	2・3・4後 <del>2・3・4前</del>		2			1			
		Web演習	2後		2						
		メディア教育の理論と実践	2・3・4後		2				1		
		教育方法の理論と実践	3後		2		1		1		
		算数	3・4後 <del>2・3・4後</del>		2			1			
		総合演習	2後 2前		2		1 2 1		1 1 2		
		教育実習	3～4後～前		5		1 1		1 2	2	
		幼児教育課程総論	3後 <del>2・3後</del>		2				1	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	専門・展開科目	保育内容総論	未開講 4前 2-3前		2				1		
		キャリアデザインⅠ	1前		2						
		キャリアデザインⅡ	2後		2				1		
		キャリアデザインⅢ	3後 3前		2		1			1	
		キャリアデザインⅣ	4前 3後		2		1				
	ゼミナールⅠ	3通	4			2 1 4	1 2	2 4 3			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門教育科目	専門・展開科目 ゼミナールⅡ	4通	4			2 1 4	2 1 2	2 4 3		
	卒業論文	4通		6		2 1 4	2 1 2	2 4 3		
専門教育科目	関連科目 日本語概論Ⅰ	2・3・4前 1-2-3-4前		2						
	日本語概論Ⅱ	2・3・4後 1-2-3-4前		2						
	日本語文法	2・3・4前		2						

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育 科目	関連 科目	日本語教授法Ⅰ	2・3・4前 1-2-3-4後		2						
		日本語教授法Ⅱ	2・3・4後		2						
		年少者日本語教育	2・3・4後		2						
		プレゼンテーション概論	2・3・4後		2						
		プレゼンテーション実習	2・3・4通		2		1				

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
20	107	0	127	20	124	0	144	
				[ 0 ]	[ 17	[ 0 ]	[ 17	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	情報論概説	2	1前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
2	コンピュータリテラシーⅣ	1	1後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
3	日本語表現法	2	1前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
4	スピーチコミュニケーション	2	1前	基本	必修	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
5	英語	2	1前	基本	必修	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
6	コミュニケーション・イングリッシュ	2	1後	基本	必修	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
7	コミュニケーション・イングリッシュⅠ	2	1前	基本	必修	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
8	コミュニケーション・イングリッシュⅡ	2	1後	基本	必修	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
9	英語特殊演習	2	1・2・3・4前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
10	英語特殊演習上級	2	1・2・3・4前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
11	フランス語	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
12	中国語	2	1・2・3・4前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
13	ポルトガル語	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
14	文学と人間	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
15	ジェンダーを考える	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
16	芸術の楽しみ	2	1・2・3・4前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
17	アメリカ社会と大衆文化	2	1・2・3・4前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。

18	自己理解と他者理解	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
19	憲法	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
20	法学入門	2	1・2・3・4前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
21	現代と政治	2	1・2・3・4前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
22	経済学入門	2	1・2・3・4前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
23	現代と経済	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
24	地域と企業	2	1・2・3・4前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
25	科学発達と環境問題	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
26	地域社会とボランティア	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
27	現代社会における教育	2	1後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
28	国際化とグローバル社会	2	1・2・3・4前	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
29	情報と人間	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
30	地域と外国人教育	2	1・2・3・4後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
31	多文化共生研究	2	1後	基本	選択	地域共創学科設置の際に基本教育科目について、共通化を図り、見直しを行った。
32	現代コミュニケーション入門	2	1前	専門	必修	地域共創学科設置の際に専門・導入科目について、共通化を図り、見直しを行った。
33	現代コミュニケーション理論	2	1前	専門	必修	地域共創学科設置の際に専門科目について、見直しを行った。
34	対人コミュニケーション論	2	2前	専門	選択	「対人コミュニケーション」に名称を変更した。
35	メディア教育の理論と実践	2	2・3・4後	専門	選択	「教育方法の理論と実践」に名称を変更した。
36	ホームページ作成演習	2	2・3・4後	専門	選択	「Web演習」に名称を変更した。

(注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 授業科目を未開講としたのは、履修者がいないためのみであり、他にはなかった。
- ・ 同一学部である地域共創学科を平成21年度から設置したことから、特に基本教育科目の科目群・科目の多くを変更したことにより、結果として廃止科目が増えた。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.28}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 浜松学院大学短期大学部と共用  借入面積： 1,170㎡ 借入期間：20年 1,121㎡ 借入期間：30年  校舎敷地と別地 (徒歩60分、6km)  セミナーハウス校地売却 (22)		
	校舎敷地	0 ㎡	28,063 ㎡	0 ㎡	28,063 ㎡			
	運動場用地	0 ㎡	17,181 ㎡	0 ㎡	17,181 ㎡			
	小 計	0 ㎡	45,244 ㎡	0 ㎡	45,244 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	2,333 <del>2,893</del>	0 ㎡	2,333 <del>2,893</del>			
	合 計	0 ㎡	4,757 <del>48,137</del>	0 ㎡	4,757 <del>48,137</del>			
(2) 校 舎	専 用	0 ㎡	19,751 ㎡	0 ㎡	19,751 ㎡	大学全体 浜松学院大学短期大学部と共用		
	( 0 ㎡)	( 19,751㎡)	( 0 ㎡)	( 19,751 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	20 28室	演 習 室 40 36室	実験実習室 2 1室	情報処理学習施設 5室 (補助職員 1人)	語学学習施設 2室 (補助職員 1人)	用途による教室の見直し(22)	
	新設学部等の名称		室 数					
(4) 専任教員研究室	現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科		12 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体
	現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科	112,274 [11,054] (113,611 [11,062])	227 [62] ( 229 [62])	— [ — ] ( — [ — ])	819 ( 863 )	11,805 (11,575)	0 ( 0 )	
	計	112,274 [11,054] (113,611 [11,062])	227 [62] ( 229 [62])	— [ — ] ( — [ — ])	819 ( 863 )	11,805 (11,575)	0 ( 0 )	
(6) 図 書 館	面 積	3,235 ㎡		閱 覧 座 席 数 166 席	収 納 可 能 冊 数 220,000 冊			
	面 積	2,511 ㎡		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要 ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	169㎡			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	「図書購入費」及び「設備購入費」の見直し(22)
	教員1人当り研究費等	450 千円	150 450千円	図書購入費	2,000千円	5,000千円	2,500 3,000 <del>3,500千円</del>	
	共同研究費等	2,000千円	2,500 <del>2,000千円</del>	設備購入費	2,000千円	5,000千円	2,500 1,380 <del>2,000千円</del>	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,230 千円	第2年次 950 千円	第3年次 950 千円	第4年次 950 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	資産運用収入、手数料収入、等による。						

(注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	浜松学院大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は 称 号	開 設 年 度	所 在 地	
現代コミュニケーション学部	年	人	年次 人	人				
現代コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士（現代 コミュニ ケーショ ン）	平成16 年度	静岡県浜松市中区布 橋三丁目2番3号	平成21年4月1日より 学生募集停止
地域共創学科	4	110	—	480	学士（現代 コミュニ ケーショ ン）	平成21 年度	静岡県浜松市中区布 橋三丁目2番3号	平成21年度に届出に よる設置 平成22年4月1日より 入学定員減（150→ 110）
大学の名称	浜松学院大学短期大学部							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は 称 号	開 設 年 度	所 在 地	
幼児教育科	2	140	—	280	短期大学 士（幼児 教育）	昭和42 年度	静岡県浜松市中 区住吉二丁目3 番1号	平成20年度より幼児 教育科第一部から学 科名称変更

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の就任辞退に係る学生の履修等への影響については、次のように考える。

当該科目の専任教員もしくは兼任教員を採用したことにより、学生の履修等への影響はほとんどないと考えている。

オリエンテーションで学生には周知し、また、ゼミナール等については、後任教員への引き継ぎ、退職教員の兼任教員としての採用等最大の配慮を行った。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①基本教育科目の科目群</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション・スキル</li> <li>・現代社会の課題（人間の理解、社会の認識、グローバル化と多文化共生）</li> </ul> <p>②基本教育科目</p> <p>③「校地等（その他）」の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「校地等」（その他）共用 2,893 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>④「教室等」の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義室28室 演習室36室 実験実習室1室</li> </ul> <p>⑤「経費の見積り」の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員1人当り研究費等 完成年度 450千円</li> <li>・共同研究費等 完成年度 2,000千円</li> <li>・図書購入費 完成年度 3,500千円</li> <li>・設備購入費 完成年度 2,000千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション・スキル</li> <li>・基礎教養科目</li> <li>・現代社会と地域の理解と科目群を変更した。</li> </ul> <p>これは、平成21年度より、地域共創学科を設置したことに伴い、同一学部であることから、科目群を統一したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科目群の変更に伴い、科目も変更を行った。（別紙参照）</li> <li>・「校地等」（その他）共用 2,333 m<sup>2</sup> セミナーハウス校地の売却による。</li> <li>・講義室20室 演習室40室 実験実習室2室 教室の用途の見直しにより変更した。</li> <li>・教員1人当り研究費等 完成年度 150千円 一律支給であったものを、研究内容に応じて150千円から350千円とした。</li> <li>・共同研究費等 完成年度 2,500千円（増額した。）</li> <li>・図書購入費 完成年度 3,100千円（減額した。）</li> <li>・設備購入費 完成年度 1,380千円（減額した。）</li> </ul>

(注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>浜松学院大学FD委員会を設置している。</p> <p>浜松学院大学FD 委員会規程（全文は別紙。） （設置） 第1条 浜松学院大学の教育理念及び現代コミュニケーション学部の教育目標に基づき、教員が主体的に行う授業改善に資することを目的とし、教育方法の研究や工夫を積極的に推進するため、FD 委員会（教育改善委員会、以下「委員会」という）を置く。 （組織） 第2条 委員会は次に掲げる委員をもって組織する。 （1） 学部長 （2） 各学科長 （3） 教育方法・研究部長 （4） 教務部長 （5） 学長が委嘱する専任教員</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>平成20年度FD委員会 平成20年4月14日開催 出席者 籠、川口、大野木、酒井、鈴木、池端 平成20年度FD委員会 平成20年10月7日開催 出席者 川口、鈴木、池端 平成20年度FD委員会 平成20年10月14日開催 出席者 川口、鈴木、池端 平成20年度FD委員会 平成20年10月24日開催 出席者 雨宮、籠、川口、鈴木、池端 平成21年度FD委員会 平成21年6月17日開催 出席者 籠、大野木、酒井、津村、岡部、緩利、鈴木、池端 平成22年度FD委員会 平成22年4月7日開催 出席者 籠、大野木、酒井、岡部、緩利、鈴木、池端</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>平成20年度FD委員会 平成20年度のFD活動計画について（授業交流・公開授業について） 平成21年度FD委員会 授業評価アンケートの改善問題、平成21年度FD委員会の活動計画の確認 平成22年度FD委員会 授業評価アンケートの課題、平成22年度FD委員会の活動計画の確認、学内研修会について、（公開授業の実施、FD週間の設置と授業観察の義務化、授業観察における重点項目、単位の適正化、授業評価アンケートの実施と改善）</p>
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 授業評価アンケート 毎年前期・後期実施 ゼミ等の科目を除き専任教員、非常勤講師すべての科目で実施し、各担当教員に結果を報告、アンケート結果に対する担当教員からの授業改善の提案（担当教員による授業自己点検・評価報告書）を提出してもらい、学内ホームページに掲載し、学生が自由に閲覧できるようにしている。</li><li>・ 教員相互の授業参観 前期には、「公開授業」9科目9名の教員が公開。後期は、23科目17名の教員が公開。 後期では、12月の二週間をFD週間とする。 授業公開に参加しない教員は、FD週間に必ず1回、他の教員の授業を観察し、レポートを提出する。 FD週間内は全ての科目を公開し、自由に観察できる。</li><li>・ 新任教員のための研修会 新任教員のための研修会を開催している。</li></ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 授業評価アンケート 前期・後期の授業終了2週間前から実施しているアンケート結果への担当教員のコメントと今後の授業への取り組み計画等を自己申告している。</li><li>・ 公開授業及びFD週間（12月に実施）</li><li>・ 新任教員のための研修会 4月1日の辞令交付終了後、10時半から11時30分まで実施。</li></ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 授業評価アンケート すべての専任教員・非常勤に依頼。数名が未実施。</li><li>・ 教員相互の授業参観 現代コミュニケーション学科時の前年度は12月に実施。実施教員数5組10名</li><li>・ 新任教員のための研修会 本年度採用された専任教員5名がすべて参加した。</li></ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 授業評価アンケートについては、アンケート結果への担当教員のコメントと今後の授業への取り組み計画等を自己申告し、結果と一緒にホームページ上に公開している。</li><li>・ 複数年度にわたって授業評価の結果が著しく悪い場合、FD推進委員会が当該教員の授業を視察する。当該教員は結果が良い教員の授業を三回参観し、レポートを提出することを義務付ける。</li></ul>

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

子どもコミュニケーション学科は、今年度完成年度を迎えることとなった。  
昨年度、開設3年子どもコミュニケーション学科では、地域共創学科の改組に伴い、いくつかのカリキュラムの見直しや履修モデルの整備を行った。地域共創学科の設置に伴い、現代コミュニケーション学部は「子ども」「心理」「多文化」「経営」の諸領域を「共創」と「地域」という概念のもとに、総合的・相乗的に教育研究するように再構築したので、そのような観点から基本教育科目を全面的に見直した。したがって、子どもコミュニケーション学科も基本教育科目を見直すこととなった。また、地域共創論、地域共創演習、心理学概論の設置などが地域共創学科との関連で行われた。これらの見直しによって、子どもコミュニケーション学科のキーコンセプトには、従来からの「表現」に「多文化」と「心理」が加わり、地域共創学科との相乗効果のもとに、現代コミュニケーション学部としての一体的なカリキュラム体系が整備されることとなった。  
以上、昨年度、基本教育科目を発展させる形で見直しを行い、それに従い授業科目を開設し、予定通り開講している。

また、専門教育科目についても、当初の計画に従い、授業科目を開設し、開講しているところである。また、実習科目（保育実習・教育実習等）についても計画に従い、開講しているところである。

教育方法についても、履修指導、全学年ゼミナール制度、セメスター制、GPA制度、単位数の上限の設定、シラバスの作成と活用について計画どおり実行している。

設置の趣旨・目的である子どもに係るコミュニケーション能力、子どもに対するコミュニケーション能力を持った人材の育成に向けて、教育課程、教員組織、教育方法等、計画に従って順調に達成しつつあるところである。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表時期

・平成21年3月10日 公表

##### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣図書館などに配布。
- ・大学ホームページ上に公開済み（本年3月末）

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける。

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 平成 2 2 年 1 0 月 1 日 ) ( 今年度分の公表予定時期 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( [http://www.www.hgu.ac.jp/univ\\_hp/annai/koukai.html](http://www.www.hgu.ac.jp/univ_hp/annai/koukai.html) )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてにメールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。